

平成25年度

仙台市国民健康保険事業特別会計

予算(概要)について

# 1 国民健康保険事業特別会計の平成 25 年度予算編成について

高齢化の進展に加えて、東日本大震災の影響がいまなお続いており、国保の財政は、これまで以上に厳しい状況である。このような状況の下、平成 25 年度予算編成においては、必要な経費を確保しつつ、適切な予算編成を行う方針である。

## (1) 被保険者数・世帯数

- ① 被保険者数・世帯数については、平成 23 年度の伸びは震災の影響を受けていることが考えられることから、震災以前の数値を参考に推計をしている。平成 25 年度は平成 24 決算見込に比べ、世帯数については増加傾向であり、被保険者数については、前期高齢者及び介護 2 号被保険者は増加傾向、退職被保険者は減少傾向、65 歳未満の被保険者は減少傾向の見込みである。

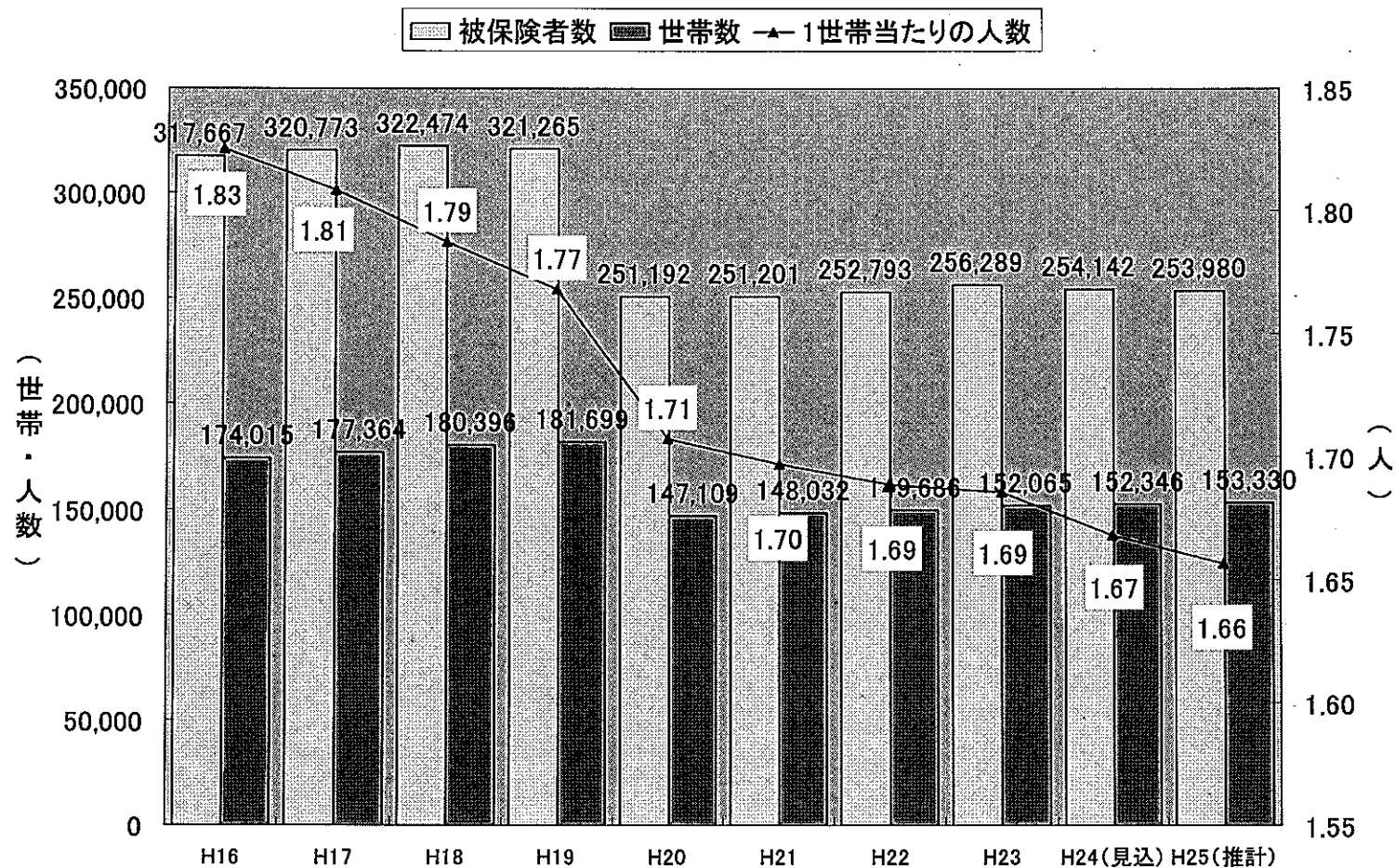
## (2) 歳出

- ① 保険給付については、震災による一部負担金免除の影響等により、平成 24 年度の保険給付費の伸びが例年より大きくなっていることから、震災による増分を修正し、平成 24 年度を除いた通常の伸び率により平成 25 年度を推計している。(増加傾向)
- ② 後期高齢者支援金及び介護納付金については、国から 1 人当たりの負担額が提示され、どちらもその負担額が大きな伸びを示している。(増加)
- ③ 共同事業拠出金については、対象となる高額医療費共同事業（1 件 80 万円以上のレセプト）及び保険財政共同安定化事業（1 件 30～80 万円未満のレセプト）の給付費の伸びに伴い、それぞれの拠出金も増加する見込みである。(増加傾向)

## (3) 歳入

- ① 保険料については、保険給付費の伸びに伴う医療分の増加と、後期高齢者支援金の伸びに伴う支援分の増加により、全体として増加する見込みである。特に支援金分については、大きな伸びとなっている。(増加傾向)
- ② 国庫支出金及び県支出金については、保険給付費の伸びに伴い、療養給付費負担金、国調整交付金、県調整交付金も同様に増加の見込みである。(増加傾向)
- ③ 前期高齢者交付金については、交付対象となる 65～74 歳の前期高齢者の保険給付費の伸びに伴い、増加の見込みである。(増加傾向)
- ④ 療養給付費交付金については、交付対象となる退職被保険者数の減少により減少の見込みである。(減少傾向)
- ⑤ 共同事業交付金については、歳出の拠出金同様、高額医療費共同交付金及び保険財政共同安定化交付金とも増加する見込みである。(増加傾向)

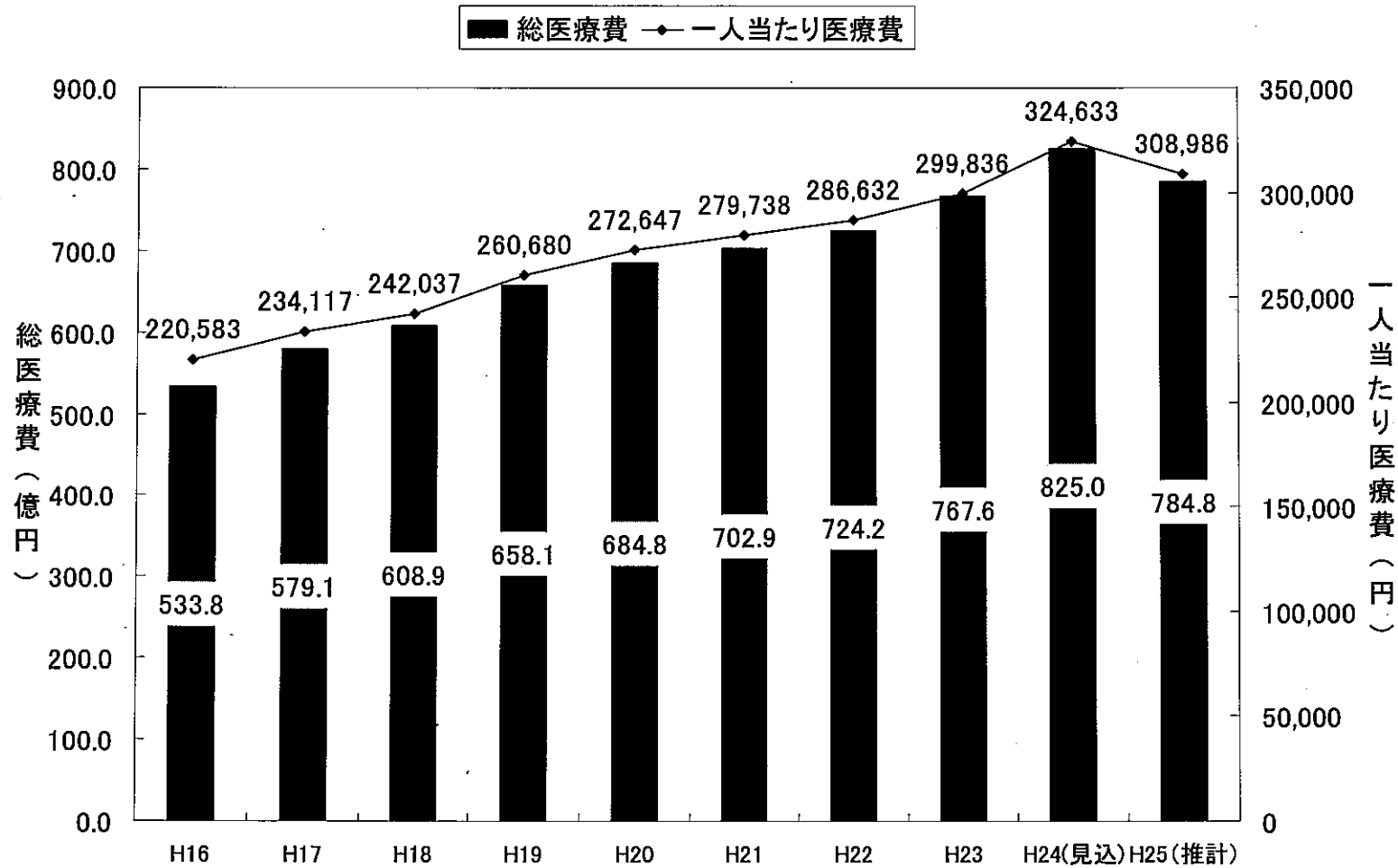
## 2 世帯数・被保険者数の推移



注) H16～H24は決算ベース(H24は見込み), H25は当初予算ベース

注) 一般被保険者+退職被保険者

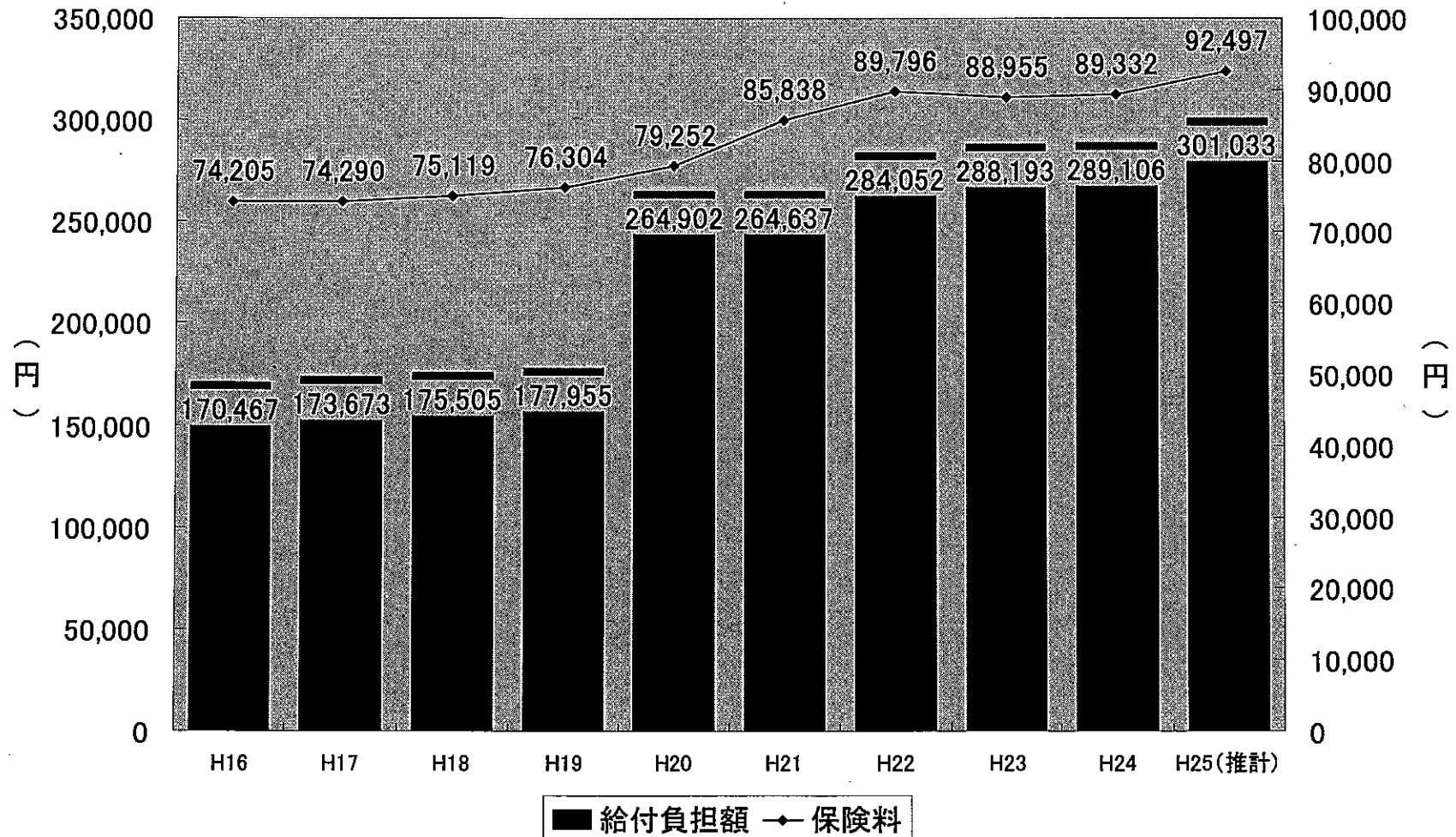
### 3 医療費の推移



注) H16～H24は決算ベース(H24は見込み), H25は当初予算ベース

注) 一般被保険者+退職被保険者

#### 4 一般被保険者一人当たりの給付費負担額及び保険料の推移



注1) 当初予算ベース

注2) 給付費負担額 = [医療給付費(老人保健拠出金含む) + 後期支援金(H20~)] ÷ 一般被保険者数

注3) 保険料 = 医療分 + 支援分

## 5 平成25年度国民健康保険事業特別会計予算案(概算)

